

# 第4学年国語科学習指導案

日時 平成20年9月24日(水) 5校時  
場所 洋野町立帯島小学校 4年生教室  
児童 男子6名、女子8名 計14名  
指導者 多田 量子

## 1 単元名 一 場面をくらべて読もう

教材名 「一つの花」今西 祐行 作 松永 禎郎 絵(光村図書 「国語4年下 はばたき」)

## 2 単元について

### (1) 育てたい能力

登場人物の様子と場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気をつけて想像しながら読む。(ウ)

題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えをもち、友達の考えと比べる。(エ)

### (2) 教材について

第3学年及び第4学年における「C読むこと」の目標は、「(3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元は、「C読むこと」の内容「ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと。」と「エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」を指導するのに適した単元である。

本教材「一つの花」は、ゆみ子一家の戦争体験を描いた物語であり、戦争と平和について考えるとともに、戦争をもっても失われることのない人間の真の愛を感じることができる作品である。この作品の中に繰り返される、ゆみ子の「一つ」「一つだけ」という言葉には、戦争についての深い悲しみが表現されているとともに、作品全体には父や母のゆみ子への深い愛情や「一つの花」に託した父の強い願いが感じられる。また、戦争中と戦争後という二つの場面によって構成されているので、それを比べて読むことによって、戦争の悲惨さを浮き彫りにし、平和への願いをより強く感じさせることが可能になる。そして、どんな世の中でも変わらない家族の愛情を、叙述をもとにしながら読み取り、登場人物の心情に迫ることで、文学作品を読み味わうことの楽しさも気付かせることができる教材である。

近年、本教材の指導の際に児童たちの戦争に対する感じ方・とらえ方に変化が出てきているように思われる。終戦から60年以上が経過し、戦争体験者から話を聞くなどの経験も少なくなり、児童たちにとっては、戦争がテレビの世界のものとなりつつある。しかし、テレビに映し出される戦争シーンからは、親子が引き離される痛みや、黙って耐えるしかない辛さは伝わってこない。だからこそ、児童と同年代のゆみ子の戦中と戦後を通して、戦争体験に迫っていききたい。

### (3) 児童について

児童は、昨年度「ちいちゃんのかげおくり」で戦争に関連した物語の学習をしている。4年生になってからは、「三つのお願いで」で叙述を基に登場人物の気持ちを想像したり、読み取ったりしたことを生かして音読する学習を進めてきた。「白いぼうし」では、根拠となる会話や行動を明確にしながら登場人物の心情や人柄を考える学習をしてきている。また、読むことの活動として、読みの視点をみんなで話し合い、共通視点を設定してきている。その視点に沿って大事な言葉や文を見つけ、そこから分かる登場人物の気持ちや様子を読み取る活動を行ってきており、叙述に即して想像しながら読むことができるようになってきている。しかし、内容や自分の思いを、自分の言葉で伝えることが難しい児童もいる。そこで、読むことや書くことの能力の個人差に考慮し、読みの手がかりなどを示して、一人一人の読みを確かなものにしていく必要がある。

### (4) 指導について

県の学習定着度状況調査の結果では、4・5年生では「(叙述を基に) 場面の移り変わりを読む」「文章構成をとらえて、内容を的確に読む」の項目に落ち込みが見られた。誤等分析等から原因として、文章全体を読み内容をとりえて答える問題に児童が慣れていないことが考えられる。そこで、本教材では、文章を場面ごとに比較して読むこと、読みの視点をもとに叙述に即して読むことを大切にしていきたい。

#### ① 「比較読み」を取り入れた指導方法の工夫

##### ア 場面の比較

場面と場面とを比較して読ませることによって、場面の違いが明確になり、文章を大きなまとまりとしてとらえた読みができるようになると考えられる。

##### イ 叙述内容の比較

比較読みは、叙述に基づいてその違いを明らかにしなければいけない。そこで、「戦時中の生活と現代生活」、「出征する他の人々とゆみ子たち家族」、「戦時中と今の生活」を比較し、それぞれの違いに気づかせる。

#### ウ 考えの比較

手紙を書き、考えを発表することにより、自分の考えと友達の考えの違いがあることに気づかせる。そして、その違いに気がつくことにより、自分の読みを広げていくことができるようになる。

#### ②「視点」を持って読む

読みの視点には、二通りの視点が考えられ、それらは学年の実態や指導事項によって考慮されるものであると考えられる。一つは、与えられた視点に対し、叙述をもとに自分がどう考えるかを確かめながら読むための視点であり、もう一つは、課題に対して読み取るための手がかりとなる視点である。

本教材の指導では、学年の実態を考慮して後者の視点で指導を進める。

### 4 単元の目標

	学 習 指 導 目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・ 態度	○場面や登場人物の様子を想像しながら読もうとする。	・場面や登場人物の様子を想像しながら読もうとしている。
読む能力	○登場人物の気持ちと場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気をつけて想像しながら読むことができる。(ウ) ○題名に込められた作者の思いについて自分なりの考えをもち、友達の考えと比べることができる。(エ)	・登場人物の様子と場面の様子を、作品の中の大事な言葉に着目して想像しながら読んでいる。 ・題名に込められた作者の思いについて自分なりの考えを持ち、友達の考えと比べている。
言語について の知識・理解・ 技能	○題名や作品のかぎとなる言葉に着目し、作品全体とのかかわりを考えることができる。	・かぎとなる大事な言葉に着目し、作品全体とのかかわりを考えながら読んでいる。

### 5 指導計画 (別紙)

### 6 本時の指導

#### (1) 本時の目標

戦中と戦後を比較しながら、今の平和な暮らしとゆみ子の成長を読み取り、父親に伝えたい母親の思いを想像することができる。

#### (2) 具体の評価規準と児童への支援の手立て

	A 十分満足できると判断できる状況例	B 概ね満足できると判断できる状況	Bに至らないと判断した児童への支援の手立て
読むこと	・十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、母親の気持ちを想像しながら、父親が安心するような手紙を書いている。	・十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、母親の気持ちを想像しながら父親への手紙を書いている。	・戦争中と十年後の様子を板書などによって比べさせ、考えの根拠となる部分に着目し、そこから考え書くように助言する。

#### (3) 本時の指導について

##### ○読みの視点と大事な言葉

読みの視点	戦争中、十年後の暮らしの違い	ゆみ子やお母さんの様子・会話・行動
大事な言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とんとんぶき</li> <li>・コスモスの花でいっぱい包まれて</li> <li>・お肉とお魚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんの顔を覚えていません。</li> <li>・「お母さん、お肉とお魚どっちがいいの。」</li> <li>・スキップをしながら、コスモスのトンネル・・・町の方へ</li> <li>・小さなお母さんになって</li> </ul>

(4) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点（・）及び評価（☆）
つ か む  5 分	<p>1 前時の学習を想起する。 ◎お父さんは一つの花に願いを込めてゆみ子に渡し、ゆみ子のこれからを心配しながら戦場に行ったことを読みました。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。 十年後のゆみ子の様子を、お父さんに伝えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんがゆみ子に、「コスモスの花のように美しく、強く。命や自分を大切にしてほしい。」という願いを込めてコスモスの花を渡したことを想起させる。</li> <li>・課題を音読させ、課題を意識させる。</li> </ul>
3 ふ か め  3 5 分	<p>3 学習の見通しを持つ。 ◎戦争中と十年後の違いを比べます。戦争中と十年後を比べるための手がかりは何でしょう。 ・読みの視点を確認する。 戦争中と十年後の違い 「登場人物・家・コスモスの花・食べ物」 「ゆみ子の様子や会話・行動」</p> <p>4 本時の学習場面を音読する。 ◎読みの視点に着目しながら、読んでみましょう。</p> <p>5 課題を解決する。 (1) 戦争中と10年後の比較をする。(場面の比較) ◎十年後の違いが分かる所にサイドラインを引きましょう。また、サイドラインを引けた人は、戦争中と比べてみて思ったこと、分かったことを書き込みましょう。  ◎サイドラインを引いた所を教えてください。 ◎十年前はどうなっていましたか。</p> <p>(2) 自分の考えと友達との考えを比較する。(考えの比較) ◎お母さんになって、ゆみ子の様子をお父さんに伝える手紙を書きましょう。  ◎書いた手紙を発表し聞きあいましょう。聞くときには、友達と似ている所やちがうところなどを聞き比べてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争中と戦後の暮らしの違いを比べて読み取り、そこから母親の気持ちを想像していくことを確認し、課題解決に見通しをもたせる。</li> <li>・戦争中の暮らしとの違いが分かるところを考えさせながら、音読させる。</li> <li>☆読みの視点に沿って、10年後のちがいについてサイドラインを引いている。</li> <li>・一人学びの時間を確保し、自分なりの考えを書かせる。(サイドラインが引けない子どもへの支援)</li> <li>・読みの視点を確認しながら、ちがいに気づかせる。(自分の考えが書けない子どもへの支援)</li> <li>・場面1・2の対比する部分を確認させ、どうか変わったのかを考えさせる。</li> <li>・ちがいからわかることを簡単に補足する。</li> <li>☆読：十年後のゆみ子と、ゆみ子を取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、母親の気持ちを想像しながら手紙に書いている。</li> <li>・書き方を確認し、互いに比較しやすいようにする。(書けない子どもへの支援)</li> <li>・学び合いや板書を手がかりにして、お母さんの気持ちをまとめさせる。</li> <li>・どんなことをお父さんに伝えたら安心するのか考えさせる。</li> <li>・自分の考えと友達のことを比較しながら聞くようにさせる。</li> </ul>

ま と め る  5 分	<p>6 学習のまとめをする。 ◎今日の学習を振り返って感想を書きましょう。 ・感想を書き、発表する。</p> <p>7 次の学習課題を確認する。 ◎次の時間は、これまで読み深めてきたことをもとに、ゆみ子に手紙を書きます。</p>	<p>・今日の学習でわかったことや、他の人の発表から学んだこと等を書かせる。 ・お母さんが手紙で伝えたかったことを確認する。</p>
--------------------------------	---	--

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             絵 ゆみ子の お父さん           </div>	<div style="float: right; text-align: right; width: 20%;"> <p>第三場面 一つの花 今西 祐行 作</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題 十年後のゆみ子の様子を、お父さんに伝えよう。</p> </div> <p>(視点) 戦争中・十年後のちがひ (一人学び) サイドライン ゆみ子の会話・行動・様子 書き込み</p> <p>◎対比(戦争中) 〇十年後</p> <p>〇登場人物 ・父親 (死) ・お父さんの顔を覚えていない ・母親・ゆみ子 ・あつたことも知らないかもしれない</p> <p>〇生活の様子 (家) 焼かれてはいに (コスモスの花) (父親の願い) 一つだけ・一輪 ・いっぱい トンネル (食べ物) 一つだけ 配給 ・「お肉とお魚どっちがいいの。」 おいも、豆、かぼちゃ 〇ゆみ子の様子 おぶわれて ・スキップ 一つだけ ・買い物かごをさげて 泣き出す ・小さなお母さん(お昼を作る)</p> <p>◎お父さんに手紙を書こう 「お父さんへ」 「生活の様子」と「ゆみ子の様子」 ・食べ物を選べる世の中 ・コスモスの花がたくさん咲く平和な世の中 ・ゆみ子はやさしい子どもになった ・泣き虫だったゆみ子がお母さんのためにお昼を作ってくれる。 お父さん 安心してください 世の中が平和になり、ゆみ子も心やさしい りっぱな子どもに成長しました。</p>
---	---